

第1回海洋教育の集いの報告その2



岬陽小学校は、3年生が、社会科と総合的な学習の時間でマグロについて学んだ内容を発表しました。マグロの流通にそって、「延縄実習船（県立海洋科学高校の実習船湘南丸）」、「魚市場」、「卸、魚屋」の3グループに分かれ、パネルを中心に、湘南丸のベッドの様子再現など、実演も交えながら、見学した時の実感が伝わるように工夫して、発表しました。



名向小学校は、4年生が、小網代の豊かな海と森の関係に興味を持ち、調べたことを、ポスター、新聞、チラシにしてまとめました。小網代の森には、24種類のカニがいること、小網代の森は、多くの人（「小網代の守り神」）の手で守られてきたことなどを参加者に伝えていました。



南下浦小学校は、目の前の海岸（高抜海岸）で行ったビーチコーミングや、その漂流物から何ができるか等の発表をしました。図工の時間に、「とんとんドンドンくぎうち名人」というテーマで、海岸で拾った木で工作をする授業を行いました。また、海の生き物を調べて、授業参観で保護者にプ

レゼンしたそうです。



上宮田小学校の発表です。海の生き物が環境問題により悪影響を受けていることを知った子どもたちが、大切な三浦の海を守るために、海の実態を学び、自分たちにできることを考えました。それをまとめて、「カニ」「ウニ」「クマノミ」「海藻」「イソギンチャク」の各グループに分かれて、



児童が生き物になりきって発表していました。劇仕立てになっていて、大きな声で堂々と演技して、参加者に訴えかけていました。

3月1日より先生方のPC上に、「海洋教育カリキュラム一覧」というリンクアイコンが存在しています。海洋教育カリキュラムを投稿、閲覧可能なイントラネットサイトです。ぜひご活用ください。

(文責 事務局長 渋谷)

海洋教育に関するお問い合わせは、みうら学・海洋教育研究所 854-9443 まで